

消防庁舎整備事業について（案）

平成 24 年 11 月

苫 小 牧 市 消 防 本 部

はじめに

この度、苫小牧市消防本部では、「消防庁舎整備事業について（案）」を作成いたしました。

消防庁舎を整備しなければならない要因としては、苫小牧市の人口の増加が上げられます。苫小牧市消防本部・消防署・出張所配置状況（配置図1）は、昭和60年の新富出張所の開設（花園・弥生出張所を統廃合）を最後に、現在に至っています。これまでの間、市の発展と共に人口も増加しており、また特に、ここ数年における東地区の人口の増加は著しく、それに対応した消防本部・消防署・出張所の在り方を検討することとなりました。

消防署・出張所を配置する上で重要なことは、緊急車両が出動から現場到着するまでの走行に充てることができる時間（走行限界時間）内に到着できるエリア（署所担当面積）に、できるだけ空白地域ができないようにすることです。

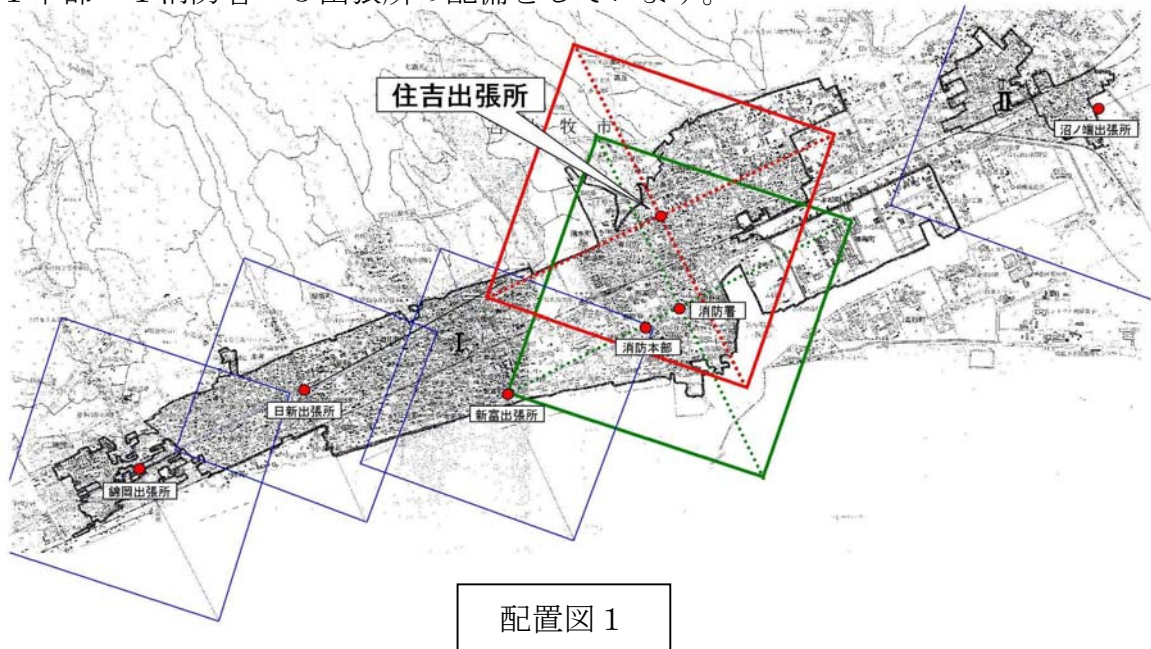
消防本部では、延焼を阻止するための消防ポンプ自動車の走行限界時間を4分30秒に設定しています。また、過去5年間の火災現着時間から各消防ポンプ自動車の走行速度を計算し、消防署・各出張所の担当範囲（消防署・各出張所を中心に、「4分30秒×走行速度」の距離を対角線とした正方形の範囲）を設定しています。（配置図1）

現在の消防署・各出張所を中心に正方形を配置すると、消防署と住吉出張所の担当範囲が大きく重複しているのに対し、沼ノ端出張所との間に空白地域ができています。

このようなことから、市内全域をおおむね包含するためには、現在、担当範囲が重複している位置を見直し、空白地域を包含できるよう基準に合わせた消防署・各出張所位置を適正配置（配置図2）することが必要です。

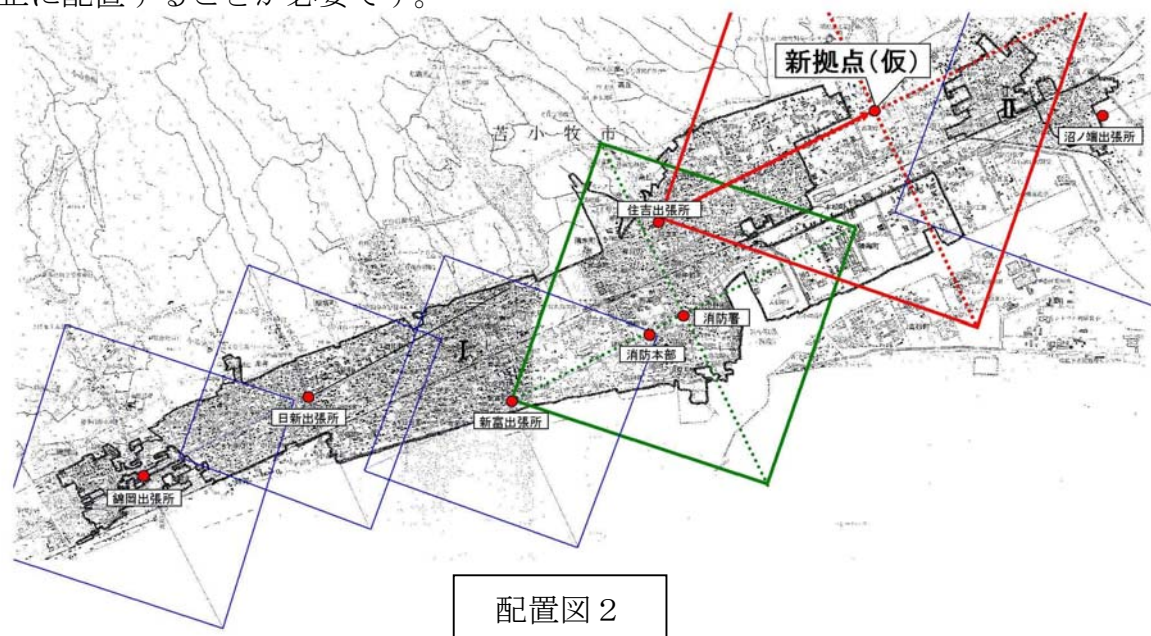
1 苫小牧市消防本部・消防署・各出張所配置状況

現在の苫小牧市消防本部は市役所4階にあり、事務部門を担当しています。また、消防署（末広町）、住吉出張所、沼ノ端出張所、新富出張所、日新出張所、錦岡出張所による1本部・1消防署・5出張所の配備をしています。



2 苫小牧市消防本部・消防署・各出張所の適正配置

市内全域をおおむね包含するためには、消防本部・消防署・各出張所の位置を整備し、適正に配置することが必要です。



3 新拠点（仮）建設計画

配置図2の新開町付近に新拠点（仮）消防庁舎整備事業を検討しています。